

# うたごよみ 曾於文藝

## 俳句

### 末吉俳句会

水仙の香り連れ行く女坂

古藤 まゆ美

我が里や二十日正月風の中

下大田 正子

着膨れて一步踏み出す勇氣かな

泊 康

### 大隅俳句会

去年今年思ひめぐらす俳句かな

逆瀬川 節子

暗闇を帰る人声どんど果つ

岩重 みどり

初旅の独りで仰ぐ紫峰かな

福村 よう子

堰溢る水のゆたかに春の音

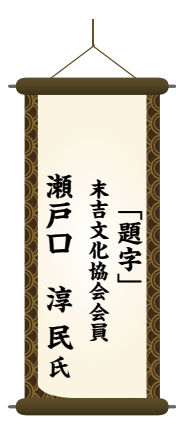
大川 満

## 短歌

### 末吉短歌会

黒仁田の史跡となりし製鉄所  
とほき鞆の風渡り来る

草野 ミツ子



松の間に有難き人等かしこみて  
歌会始めの声澄み渡る

泊 康

確かに我にも最期訪れむ  
初日を浴びて眼を閉づる

宝蔵 弘二

### 大隅短歌会

一点の雲さえあらず年明くる  
紛争の地に届けたき空

西山 美代子

生きている喜び交わす賀状書く  
月日は友を減らしゆけども

川田 サダ子

トコトコと舗道を歩く子狸よ  
走れや急げ年が明けるぞ

川辺 敦子

### 財部短歌会

寒の朝最初の一步ためらいて  
杖をたよりに出かける散歩

川俣 若

鈴なりの柚子をちぎりて浴槽に  
浮かべて瞑想今日の出来事

永岡 冴子

## 薩摩狂句 にがごい会末吉支部

朝寝坊 今年しやち鳥ゆげ  
願んみつ

桐野 奈世

鳥の如つ 存分き天に  
飛ばごちやい

鈴木 一泉

烏奴 野菜を根刮ぎ  
チンガラツ

浜田 一好

不景気な 生活す泣かすい  
閑古鳥

森山 厚香

### 大隅薩摩狂句会

夫婦喧嘩 言わにやよかつた  
女房ん欠点

山田 竜生

パソコンに 履歴書ん字を  
書つもろつ

津留 群志

耳栓ぬ 着めつ聞こそな  
諄で語い

西山 美代子

酉の年 ゆつっつら行けち  
願ご平和

福元 多喜子